

ふしうっこ日記

令和8年1月20日

ふしうっこタイム 修繕部

昼休みに、4年生の児童が「相談したいことがあります」と職員室に来ました。

タブレットで写真を見せ、「この壁のペンキがとれているところにペンキを塗りたいのですが、いいですか」と尋ねました。修繕部の子供たちは、前回までの活動で、体育館の倉庫のペンキを塗ってくれました。他にも自分たちに修繕できるところはないかと考え、学校中を歩いたのでしょうか。そして、「ここにペンキを塗りたい」と思って伝えてくれたのだと思います。「ペンキを塗るのは難しいけれど、大丈夫ですか?」と尋ねると、「はい」としっかりと返事が返ってきました。

午後、ふしうっこタイムが始まりました。スマックを身につけ、下の学年の子供たちに声をかけながら、やる気に満ちあふれる様子が見られました。自分で考えたことを実行することが、自信に繋がっているように見えました。「ペンキぬり立て」のポスターも貼り、まわりの児童への配慮もしていました。

他の部の子供たちも、めあてを持って活動する様子が見られ、先週の部長・副部長会議の話し合いが生きているようを感じました。

